

包括的核実験禁止条約（CTBT）発効に向けて取り組んでいる7カ国9名の研究者や担当官を対象としたグローバル地震観測研修を実施します。

国立研究開発法人建築研究所では、国際地震工学研修の短期研修として、「グローバル地震観測研修」を2023年1月10日から3月3日まで実施します。参加者は、アルジェリア(2)、ナミビア(1)、ネパール(2)、ペルー(1)、フィリピン(1)、サモア(1)、バヌアツ(1)の7カ国から選ばれた研究者や担当官9名です。今回は27回目となり、対面により実施します。

現在、包括的核実験禁止条約（Comprehensive Nuclear Test Ban Treaty、CTBT）発効に向けた取り組みが国内外で進められています。これと並行して、CTBTの遵守を検証するための国際監視制度の整備が進められています。地震学的手法を用いた監視技術はその重要な柱の一つです。

国際地震工学センターは外務省から依頼を受け、核軍縮推進のための国際貢献として、1995年からグローバル地震観測コースを気象庁、国際協力機構（JICA）と協力して実施しています。

核実験探知に必要な地震観測技術や核実験を識別するデータ解析技術を習得し、CTBTの検証体制及び国際監視制度において重要な役割を果たせる人材を育成しています。

本研修によって、核実験探知や包括的核実験禁止条約機関（CTBTO）の検証体制を理解することに加え、地震防災にも有用である自然地震を含むグローバル地震観測技術の普及が期待されます。

なお、本研修は、建築研究所が独立行政法人国際協力機構（JICA）からの委託を受け実施しているものです。

<参考1：開講式の日程>

第27回グローバル地震観測研修 開講式

日時：令和5年1月10日（火）15:00～

場所：国立研究開発法人建築研究所2階講堂（つくば市立原1）

<参考2：これまでの研修修了者数>

- ・グローバル地震観測研修：78カ国から280名
- ・国際地震工学研修：105カ国から1,996名（グローバル地震観測研修含む）

<その他研修に関する情報については、建築研究所エピストラVol.84 1)、及び、国際地震工学センターホームページ 2)、CTBT及びCTBTO 3)を参照のこと>

1) <https://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/epistura/pdf/84s.pdf>

2) <https://iisee.kenken.go.jp/>

3) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kaku/ctbt/gaiyo.html>

（内容及び開講式取材の問合せ先）

国立研究開発法人 建築研究所
（つくば市立原1）
所属 国際地震工学センター
職名 管理室長
氏名 山田高広
電話 029-879-0678（直通）
e-mail yamada@kenken.go.jp